



## Cisco ボイスメール パイロットの設定

ボイスメール パイロット番号は、ユーザが本人のボイス メッセージにアクセスするときにダイヤルする電話番号を指定します。Cisco Unified CallManager は、ユーザが電話機上の [メッセージ] ボタンを押すと自動的にこのボイス メッセージ番号にダイヤルします。各ボイスメール パイロット番号は、異なったボイス メッセージ システムに属することができます。

次のトピックでは、ボイスメール パイロットの設定について説明します。

- [Cisco ボイスメール パイロットの検索 \(P.65-2\)](#)
- [ボイスメール パイロット番号の設定 \(P.65-3\)](#)
- [ボイスメール パイロットの設定値 \(P.65-4\)](#)
- [ボイスメール パイロット番号の削除 \(P.65-5\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

## Cisco ボイスメールパイロットの検索

ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメールパイロットが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定の Cisco ボイスメールパイロットを見つけることができます。Cisco ボイスメールパイロットを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。

[ボイスメールパイロットの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Pilots)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、Cisco ボイスメールパイロットを検索します。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: ボイスメールパイロット、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [ボイスメールパイロット番号]
- [説明]
- [コーリングサーチスペース名]



(注)

このドロップダウンリストボックスで選択する条件によって、検索時に生成される Cisco ボイスメールパイロットリストのソート方法が決まります。たとえば、[コーリングサーチスペース名] を選択すると、[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2番目の [検索対象: ボイスメールパイロット、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



**ヒント** データベースに登録されている Cisco ボイスメールパイロットをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

検出された Cisco ボイスメールパイロットのリストが、次の項目別に表示されます。

- [説明 (Description)]
- [パイロット番号 (Pilot Number)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]



**(注)** 該当する Cisco ボイスメールパイロットの横にあるチェックボックスをオンにして **[選択項目の削除]** をクリックすると、[ボイスメールパイロットの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Pilots)] ウィンドウから複数の Cisco ボイスメールパイロットを削除できます。検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **[選択項目の削除]** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての Cisco ボイスメールパイロットを削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致するボイスメールパイロットのアイコン、デバイス名、説明、または関連するデバイスプールをクリックします。

選択した Cisco ボイスメールパイロットがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.65-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ボイスメールパイロット番号の設定

ボイスメールパイロット番号を設定する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加] リンクをクリックします。
- ステップ 3** 該当する設定値を更新します (表 65-1 を参照)。
- ステップ 4** 新規ボイスメールパイロット番号を追加する場合や、既存のボイスメールパイロット番号の設定を更新する場合は、**[保存]** をクリックします。



#### 追加情報

P.65-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ボイスメールパイロットの設定値

表 65-1 では、ボイスメールパイロットの設定値について説明します。

表 65-1 ボイスメールパイロットの設定値

フィールド	説明
[ボイスメールパイロット番号 (Voice Mail Pilot Number)]	ボイスメールパイロット番号を識別する番号を入力します。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、このパイロット番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム] &gt; [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[説明 (Description)]	パイロット番号の説明を記述します。
[システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)]	<p>チェックボックスをオンにして、このパイロット番号をそのシステムのボイスメールパイロットのデフォルトにします。</p> <p> (注) [システムのデフォルトボイスメールパイロットに設定 (Make this the default Voice Mail Pilot for the system)] ボックスをオンにすると、このボイスメールパイロット番号は、現在のデフォルトパイロット番号を置き換えます。</p>

### 追加情報

P.65-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ボイスメールパイロット番号の削除

ボイスメールパイロット番号を削除する手順は、次のとおりです。[Default] または [No Voice Mail] のプロファイル番号は、削除できません。

### 始める前に

ボイスメールプロファイルが使用するボイスメールパイロット番号は、削除できません。ボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを検索するには、[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#)を参照してください。使用されているボイスメールパイロットを削除しようとすると、Cisco Unified CallManager はメッセージを表示します。現在使用されているボイスメールパイロットを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルすべてに、別のボイスメールパイロットを割り当てる。[P.66-3 の「ボイスメールプロファイルの設定」](#)を参照してください。
- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを削除する。[P.66-5 の「ボイスメールプロファイルの削除」](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [ボイスメール] > [ボイスメールパイロット] の順に選択します。

**ステップ 2** 削除する Cisco ボイスメールパイロットをクリックします。

**ステップ 3** [削除] をクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。



**(注)** [Default] または [No Voice Mail] のパイロット番号を選択した場合、[削除] ボタンは表示されません。

**ステップ 4** ボイスメールパイロットを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

ボイスメールプロファイルがこのボイスメールパイロット番号を使用している場合は、このボイスメールパイロット番号を使用しているボイスメールプロファイルの番号を示すメッセージが表示されます。

### 追加情報

[P.65-6 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.65-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.65-3\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.65-4\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の削除 \(P.65-5\)](#)
- 『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco Unified CallManager への接続性」
- 『*Cisco Unified CallManager システム ガイド*』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」
- [メッセージ受信の設定 \(P.64-1\)](#)
- [ボイスメールプロファイルの設定 \(P.66-1\)](#)